

令和5年 10月31日

大河原町議会議長 岡崎 隆 殿

文教厚生常任委員会

委員長 佐藤 巖

所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、調査中の案件について下記のとおり調査を終了したので、大河原町議会会議規則第76条の規定により報告いたします。

記

1. 開催の日時 令和 5年 10月25日(水)
10時00分から11時40分
2. 開催の場所 大河原南小学校
3. 出欠委員の氏名 佐藤 巖 大沼 常次 秋山 昇 山崎 剛
出席委員 丸山 勝利 中村 淳 佐藤 暁史
欠席委員 なし
4. 説明のため出席 大河原南小学校校長 仲松 晃
した者の職氏名 同 教頭 八巻 淳
教育総務課長 櫻田 尚
同 課長補佐 小野寺 淳一
5. 議会事務局の出 議会事務局長 齋 修
席職員の職氏名 同 主事 佐藤 邦彦
6. 所管事務の調査事項
 - (1) 大河原南小学校の現況と課題について(学校からの説明)
 - (2) 学校の施設設備等の現況について(現地確認)

7. 調査の内容

(1) 学校側からの説明

① 職員構成の課題及び働き方改革への取組

■ 職員構成

- 20代や50、60代の教員は多いが、30代、40代の教員が少ない。再任用教員も多い。若手教員の育成に力を注いでいる。

■ 働き方改革への取組

- 授業を行うための「教材研究」に時間を要するため、行事の精選や会議等の圧縮、時間割の工夫をするなどして、授業準備のための時間を作り出している。

■ 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」

- いじめの認知件数 2件
- 不登校 5名

■ 学校施設設備、備品等の状況

□ 説明を受けての質疑

Q LINEでのいじめはどのようにして認知したのか。また、その経緯について十分な確認はしたのか。

A 子どもから担任に相談があり、それによって発覚した。双方の子どもから担任やいじめ担当教員が詳しく話を聞き指導した。

Q 2学期制になっての成果はどのように捉えているか。

A 保護者からの反応は特にはない。学校にとっては、3学期制では特に3学期の期間が短く、子どもの成績の評価をする際に難しい問題があったが、2学期制になって、その問題は解消された。

Q 夏季休業中のプール開放については、どのような状況だったのか。

A 今夏の休業中でのプール開放は1日しか実施できなかった。夏休みが明けても猛暑が続いたため、プールでの実技指導は十分にできなかった。

Q いじめの調査の方法や頻度はどのようになっているのか。また、学校外の団体とのかかわりの状況は。

A いじめのアンケートは月1回実施している。南小学校では、地域の様々な団体からの支援、協力が伝統として続いており、そういった団体とのコラボ活動によって様々な活動を行っている。なお、それらの活動を実施するにあたって学校の職員は直接タッチしておらず、負担にはなっていない。

Q 職員の年齢構成の割合及び再任用教員の位置づけはどのようになっているのか。

A 職員構成は29歳以下が29%、39歳以下が19%、49歳以下が5%、50歳以上が47%になっている。再任用教員は5名いる。その中の1人は学級担任をしている。その他は少人数指導やLD指導の担当をしている。

Q いじめの件数が少なすぎるのではないか。また、不登校の人数を教えてください。

しい。

A いじめの件数は少ないように感じる。いじめは表面にあらわれるものだけでなく、陰で行われる場合もあるので、今後、教員のいじめに対する感度を高めていくように指導していきたい。

不登校は5名であった。

Q 学校評議員と学校運営協議会の違いをどのように捉えているか。

A 学校評議員は、例えると「校長の友達」対して学校運営協議会は「実行部隊」ととらえている。

(2) 学校の施設設備等の現況について(現地確認)

- 体育館の一部雨漏りしている箇所については、現在補修中である。他にも雨漏りのため補修している箇所がある。
- 校地の外周フェンスが劣化していると聞いているが、教育委員会には報告しているのか。
- 外周フェンスの劣化については、学校安全点検の結果報告の折に町教委に報告している。
- 南小学校では、不用になった運動着を回収し、希望する子ども、親に無償で譲渡している。
- 図書室は学校司書補助が町予算で配置されており、図書室の整理、蔵書も整然と並べられている。

8 まとめ

(1) 寄贈された「神輿」はどのように保管されているのか。

■ ホールの玄関前に展示している。

(2) 小学校では校内でマスクを着用している子どもが少ない。教員は授業を行う上で子どもの表情を見ながら授業を進めていくと思われるが、マスクをしているとその表情が判別できないのではないか。

■ 南小学校では校内でマスクをしている子どもは少ない。

(3) 特別教室の理科室や家庭科室等のクーラー設置については、既に教育委員会との打ち合わせが進んでおり、次年度の予算要求に回るものと思われる。